トラブルシューティングおよびメンテナンスガイド

著作権およびライセンス

Hewlett-Packard Company

P.O. Box 4010

Cupertino, CA 95015-4010

USA

初版：2012 年 7 月

製品番号：701334-291

ハードドライブの容量について

Microsoft® Windows® オペレーティングシステムがプリインストールされた HP および Compaq コンピューターのハードディスクドライブ領域は、製品仕様書、説明書、または箱に記載されているサイズよりも小さく表示されることがあります。ハードディスクドライブの製造販売元による記載および広告では、10 進法（ベース 10）で容量を表記しています。Microsoft Windows および FDISK などのその他のプログラムでは、2 進法（2 を基数とする進法）を使用しています。

10 進法では、1 MB は 100 万バイト、1 GB は 10 億バイトになります。2 進法では、1 MB は 104 万 8576 バイト、1 GB は 10 億 7374 万 1824 バイトになります。計算方法が異なるため、Microsoft Windows で表示されるサイズと広告に記載されているサイズが異なる場合があります。ハードドライブの保存容量は、広告に記載されているとおりです。

Microsoft Windows の [エクスプローラー] ツールやコンピューターのウィンドウで値が少なめに表示される理由は、ハードドライブ上にある 1 つのパーティションの情報のみが表示されるためです。パーティションには、システムリカバリ情報が含まれているものなど複数のパーティションがあります。

4 GB のメモリ構成のシステムに関する注意

32 ビットのオペレーティングシステムを実行するコンピューターでは、システムリソースの要件により、3 GB を超えるすべてのメモリを使用できない場合があります。

この制限は、HP および Compaq のシステムに限定されるものではありません。3 GB を超えるメモリはシステムリソースに使用されます。

メモリ合計の確認

システム BIOS には、搭載されている 4 GB 全体が表示されます。

1. コンピューターの電源を入れます。

2. [F10] を押します。BIOS のメニューが表示されます。搭載されているメモリの合計容量を確認してください。

目次

1　コンピューターの保護

お使いのコンピューターには、不正なアクセスからシステムおよびデータを守るための機能が搭載されています。以下の説明を参照して、各機能を適切に使用してください。

コンピューターのセキュリティ機能

コンピューターへの脅威	コンピューターの機能
コンピューターまたはユーザーアカウントの不正な使用	ユーザーパスワード **パスワード**は、コンピューターの情報を保護するためにユーザーが指定する文字列です
セットアップユーティリティ、BIOS設定、およびその他のシステム識別情報への不正なアクセス	管理者パスワード
コンピューターウィルス	ウィルス対策ソフトウェア コンピューターにプリインストールされている無料の試用版ウィルス対策ソフトウェアを使用すると、既知のウィルスを検出および駆除でき、多くの場合はウィルスの被害にあった箇所を修復できます。試用期間を過ぎた後も新しいウィルスから保護するには、延長アップデートサービスを購入します
データへの不正なアクセスおよびコンピューターに対して続く脅威	ファイアウォールソフトウェア ● Windows® には、ファイアウォールソフトウェアが含まれています ● コンピューターにプリインストールされているウィルス対策ソフトウェアにも、ファイアウォールソフトウェアが含まれています Windows の重要なセキュリティアップデート Microsoft® では、継続的に Windows オペレーティングシステムをアップデートしています

2 トラブルシューティング

モニターやプリンターなどの周辺機器に固有の問題については、製品の製造販売元が提供する説明書を参照してください。以下の表に、コンピューターの設置、起動、または使用時に発生する可能性がある問題および考えられる解決策を示します。

トラブルシューティングのオプションについて詳しくは、コンピューターに付属の『コンピューターの準備』ガイドを参照するか、http://www.hp.com/jp/contact/ にアクセスして、お使いのコンピューターのモデルを検索してください。

コンピューターが起動しない

トラブル	解決方法
ハードドライブのエラーメッセージが表示される	コンピューターを再起動します **1**. キーボードの [Ctrl] キー、[Alt] キー、および [Delete] キーを同時に押します **2**. [**電源**] アイコンを選択し、[**再起動**] を選択します **または**、電源ボタンを 5 秒以上押したままにしてコンピューターの電源を切ってから、電源ボタンを押してコンピューターを再起動します **3**. Windows が起動する場合は、すべての重要データを直ちにバックアップハードディスクドライブにバックアップします **4**. Windows を起動できたかどうかをサポート窓口に連絡します ハードディスクドライブまたはシステムボードの交換が必要な場合があります
コンピューターの電源が入らない、または起動しない	コンピューターを外部電源に接続しているケーブルが、正しく差し込まれていることを確認します。コンピューターを外部電源に接続しているケーブルが正しく差し込まれていて、電源コンセントが機能している場合、コンピューター背面にある電源装置のランプが緑色に点灯します。ランプが点灯しない場合は、サポート窓口にお問い合わせください
	ディスプレイ（モニター）に何も表示されない場合は、モニターが正しく接続されていない可能性があります。モニターコネクターをコンピューターに接続してしっかりと差し込み、電源を入れます。6 ページの「ディスプレイ（モニター）」を参照してください
	電源コンセントに別の電気装置を接続して、コンセントが正しく機能しているかテストします
コンピューターがロックされ応答していないように見える	Windows の [**タスク マネージャー**] で応答していないすべてのプログラムを閉じるか、またはコンピューターを再起動します **1**. キーボードの [Ctrl] キー、[Alt] キー、および [Delete] キーを同時に押します **2**. [**タスク マネージャー**] を選択します **3**. 応答していないプログラムを選択して [**タスクの終了**] をクリックします
	プログラムを終了しても解決しない場合は、以下の手順でコンピューターを再起動します **1**. キーボードの [Ctrl] キー、[Alt] キー、および [Delete] キーを同時に押します **2**. [**電源**] アイコンを選択し、[**再起動**] を選択します **または**、電源ボタンを 5 秒以上押したままにしてコンピューターの電源を切ってから、電源ボタンを押してコンピューターを再起動します
無効なシステムディスク、非システムディスク、またはディスクエラーに関するメッセージが表示される	ドライブの動作が停止したら、ディスクを取り出し、キーボードのスペースキーを押します。これで、コンピューターが起動します

電源

トラブル	解決方法
電源ボタンを押してもコンピューターの電源が切れない	コンピューターの電源が切れるまで、電源ボタンを押したままにします。電源設定を確認します
コンピューターが自動的にシャットダウンする	● コンピューターが過熱している可能性があります。室温と同じくらいになるまでコンピューターを冷却します ● コンピューターの通気が遮られておらず、内部ファンが動作していることを確認します。22 ページの「埃、汚れ、熱からのコンピューターの保護」を参照してください（コンピューターによっては、内部ファンがない場合もあります）

ディスプレイ（モニター）

トラブル	解決方法
画面に何も表示されず、モニターの電源ランプが点灯しない	モニター背面にある電源プラグと電源コンセントを接続しなおします
	モニターの [電源] ボタンを押します
画面に何も表示されない	キーボードのスペースキーを押すか、マウスを動かして、画面が再度表示されるようにします
	[スリープ] ボタン（一部のモデルのみ）またはキーボードの Esc キーを押して、スリープモードから復帰します
	電源ボタンを押し、コンピューターの電源を入れます
	モニターのビデオコネクターに曲がっているピンがないかどうかをチェックします ● 曲がっているピンがある場合は、モニターコネクターケーブルを交換します ● 曲がっているピンがない場合は、モニターコネクターケーブルをコンピューターに接続しなおします
画面上の画像が大きすぎる/小さすぎる、またはぼやけている	Windows でモニターの解像度設定を調整します **1.** デスクトップ画面上で何もない場所を右クリックして、［**画面の解像度**］クリックします **2.** ドロップダウンメニューから解像度を選択します **3.** ［**適用**］→［**変更を維持する**］の順にクリックします

注記： ここに示されている情報の他に、お使いのモニターに付属の説明書も参照してください

キーボードおよびマウス（有線）

トラブル	解決方法
キーボードのコマンドおよび入力操作がコンピューターに認識されない	マウスを使用してコンピューターの電源を切り、キーボードのケーブルをコンピューターの背面から抜き、接続しなおしてから、コンピューターを起動しなおします
有線マウスが動作しない、または検出されない	マウスケーブルをコンピューターから抜き、接続しなおします
	それでもマウスが検出されない場合は、コンピューターの電源を切り、マウスケーブルを抜き、接続しなおしてから、コンピューターを起動しなおします
テンキーの矢印キーを使用してカーソルを移動できない	キーボードの [Num Lock] キーを押して Num Lock ランプを消灯させ、テンキーの矢印キーが使用できるようにします
カーソルがマウスの動きに反応しない	キーボードを使用して、開いているすべてのプログラムの変更を保存し、コンピューターを再起動します **1**. [Alt] キーと [Tab] キーを同時に押し、開いているプログラムに移動します **2**. [Ctrl] キーと [S] キーを同時に押し、選択されているプログラムで行った変更を保存します（ほとんど（すべてではありません）のプログラムで、[Ctrl] ＋ [S] キーは、保存を行うためのキーボードショートカットです） **3**. 開いているすべてのプログラムで、手順 1 ～ 2 を繰り返して変更を保存します **4**. 開いているすべてのプログラムで変更を保存したら、[電源] ボタンを押してコンピューターの電源を切ります **5**. シャットダウンが完了したら、マウスコネクターをコンピューターの背面から抜き、接続しなおしてから、コンピューターを起動しなおします

キーボードおよびマウス（無線）

<table>
<tr><th>トラブル</th><th>解決方法</th></tr>
<tr><td rowspan="3">無線キーボードやマウスが動作しない、または検出されない</td><td>

- 無線キーボードまたは無線マウスをレシーバーの受信範囲内で使用していることを確認します。受信範囲は、通常の使用時は約 10 m、初回セットアップ時または再同期時は 30 cm 以内です
- マウスがサスペンドモードに入っていないことを確認します。サスペンドモードは、20 分間操作が行われないと実行されます。マウスを再度有効にするには、マウスの左ボタンをクリックします
- キーボードおよびマウスの電池を交換します
- 以下の手順を使用して、キーボードおよびマウスとレシーバーとを再同期します

</td></tr>
<tr><td>以下の図に示されているレシーバー、無線キーボード、および無線マウスは一例であり、お使いのモデルによって異なる場合があります。重要：以下の手順では、無線キーボードおよび無線マウスは、レシーバーと同じ高さで、レシーバーから 30 cm 以内で、他のデバイスから干渉を受けない位置に配置します</td></tr>
<tr><td>

1. コンピューターの USB コネクターからレシーバーを抜いて、接続しなおします。お使いのモデルのコンピューターによっては、レシーバー専用のコネクターがある場合があります。可能な場合は、コンピューター前面の USB コネクターを使用します

2. マウスの底面で、電源スイッチ（**A**）がオンになっていることを確認し、**Connect**（接続）ボタン（**B**）を、レシーバーのランプが点灯するまで、または点滅しなくなるまで、5 ～ 10 秒程度押したままにします。レシーバーの接続セッションは 60 秒でタイムアウトします。接続が確立されており、レシーバーがタイムアウトしていないことを確認するには、マウスを動かして画面上での反応を見ます

3. マウスの接続が確立された後、キーボードの接続も確立する場合は、以下の手順に進みます
4. キーボードの裏面の **Connect** ボタンを、レシーバーのランプが点灯するまで、または点滅しなくなるまで、5 ～ 10 秒程度押したままにします

</td></tr>
</table>

スピーカーおよびサウンド

トラブル	解決方法
音量が異常に小さい、または十分でない	スピーカーがコンピューター背面のライン出力コネクター（黄緑色）に接続されていることを確認します（マルチチャンネルスピーカーの場合は、追加のオーディオコネクターが使用されています）。電源供給機能のないスピーカー（電池や専用の電源コードなど専用の電源がないスピーカー）を使用すると十分な音量が出ません。電源供給機能のないスピーカーを、電源供給機能付きのスピーカーに交換します
音が出ない	**1**. スタート画面で「こ」と入力して、［**コントロール パネル**］→［**システムとセキュリティ**］の順に選択します **2**. ［**アクション センター**］で［**コンピューターの一般的な問題のトラブルシューティング**］→［**オーディオ再生のトラブルシューティング**］の順に選択します
	グラフィックスカードの HDMI（High-Definition Multimedia Interface）コネクター（一部のモデルのみ）を使用してモニターをコンピューターに接続する場合、コンピューターの初回セットアップ時にサウンドを聴くには、アナログスピーカーもコンピューターのオーディオライン出力コネクターに接続する必要があります。アナログスピーカーの接続方法については、『コンピューターの準備』を参照してください
	モニターの内蔵スピーカーを使用している場合は、モニターのフロントパネルの音量ボタンを使用して音量を調節します。フロントパネルのボタンを使用してオンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを表示し、オーディオが有効になっていることと、音量が適切に設定されていることを確認します
	電源付き（アクティブ）スピーカーが接続されていて、その電源がオンになっていることを確認します
	コンピューターの電源を切り、スピーカーのケーブルを抜いて、接続しなおします。スピーカーがライン入力コネクターやヘッドフォンコネクターではなく、オーディオコネクターに接続されていることを確認します
	スリープモードから復帰させるには、[スリープ] ボタン（一部のモデルのみ）を押すか、Esc キーを押します
	ヘッドフォンがコンピューター（またはスピーカーシステム）に接続されている場合は、取り外します

インターネットアクセス

トラブル	解決方法
インターネットプログラムが自動的に起動しない	ご利用のインターネットサービスプロバイダー（ISP）にログインしてから、必要なプログラムを起動してみます
インターネットに接続できない	**1**. スタート画面で「こ」と入力して、［**コントロール パネル**］を選択します **2**. [ネットワークとインターネット] 領域で、［**インターネットに接続します**］を選択します
	ご利用のインターネット接続の種類に適したケーブルを使用していることを確認します。お使いのコンピューターには、イーサネットネットワークアダプター（ネットワークインターフェイスカードまたは NIC とも呼ばれます）が搭載されている場合があります。モデムは標準の電話回線を使用しますが、ネットワークアダプターはネットワークケーブルを使用してローカルエリアネットワーク（LAN）に接続されます。電話回線をネットワークアダプターに接続しないでください。また、ネットワークケーブルを電話線に接続しないでください。接続するとネットワークアダプターが損傷する場合があります
	無線ネットワークの接続ウィザードを実行します **1**. スタート画面で「こ」と入力して、［**コントロール パネル**］→［**ネットワークとインターネット**］→［**ネットワークと共有センター**］の順に選択します **2**. [ネットワークと共有センター] ウィンドウで、［**新しい接続またはネットワークのセットアップ**］を選択してウィザードを開き、画面の説明に沿って操作します
	お使いのシステムにアンテナが外付けされている場合は、アンテナを動かしてみます。アンテナが内蔵されている場合は、コンピューター本体を動かしてみます
	後でもう一度接続してみるか、またはご利用のインターネットサービスプロバイダー（ISP）に問い合わせます

ソフトウェアのトラブルシューティング

ソフトウェアの問題を修復するには、以下の方法を試してみます。	● コンピューターの電源を完全に切り、もう一度入れます。これが最も簡単（かつ、多くの場合に最適な）方法です。 ● ドライバーを更新します（下の「デバイスドライバーの更新」を参照） ● Microsoft の [システムの復元] ソフトウェアプログラムとハードウェアドライバーのインストールを使用します（この表の「Microsoft の [システムの復元]」を参照）。コンピューターを、ソフトウェアがインストールされる前に使用していた構成に復元します ● ソフトウェアプログラムまたはハードウェアドライバーを再インストールします（この表の「ソフトウェアプログラムおよびハードウェアドライバーの再インストール」を参照）。ソフトウェア（製品に付属している場合）またはハードウェアドライバーを出荷時設定に戻します ● [システムの復元]（13 ページの「システムリカバリ」を参照）を使用します。ハードドライブの内容を消去して再フォーマットし、オペレーティングシステム、プログラム、およびドライバーを再インストールします。この操作を行うと、作成していたすべてのデータファイルが消去されます。
デバイスドライバーの更新	ドライバーを更新するには、また、新しいドライバーで問題が解決されない場合にドライバーの以前のバージョンに戻すには、以下の手順で操作します。 **1**. スタート画面で「こ」と入力して、［**コントロール パネル**］を選択します **2**. ［**システムとセキュリティ**］を選択し、[システム] 領域で［**デバイス マネージャー**］を選択します **3**. 矢印を選択して、更新または元に戻すデバイスを展開します（たとえば、[DVD/CD-ROM ドライブ] など） **4**. 目的の項目をダブルクリックします（たとえば、[HP DVD Writer 640b] など）。 **5**. ［**ドライバー**］タブを選択します **6**. ドライバーを更新する場合は、［**ドライバーの更新**］を選択し、画面の説明に沿って操作します **または**、ドライバーを以前のバージョンに戻す場合は、［**ドライバーを元に戻す**］を選択し、画面の説明に沿って操作します
Microsoft の [システムの復元]	コンピューターにインストールしたソフトウェアが原因と考えられるトラブルが発生した場合は、[システムの復元] を使用して、コンピューターを以前の復元ポイントに戻します。復元ポイントは手動で設定することもできます。 **注記**： システムリカバリプログラムを使用する前に、必ず [システムの復元] を実行してください。 一部の機能は、Microsoft Windows が付属していないシステムでは使用できない場合があります。
	システムの復元の開始や復元ポイントの追加を手動で行うには、以下の操作を行います **1**. 開いているすべてのプログラムを閉じます。 **2**. スタート画面で「こ」と入力して、［**コントロール パネル**］を選択します **3**. ［**システムとセキュリティ**］→［**システム**］→［**システムの保護**］の順に選択します **4**. [システムのプロパティ] 画面の［**システムの保護**］タブを選択します **5**. 画面の説明に沿って操作します

<table>
<tr><td>ソフトウェアプログラムおよびハードウェアドライバーの再インストール</td><td>工場出荷時にインストールされたソフトウェアプログラムまたはハードウェアドライバーのどれかが破損した場合は、[リカバリ マネージャ] プログラムを使用して再インストールできます（一部のモデルのみ）。

注記： コンピューターに同梱されている CD または DVD からインストールしたソフトウェアプログラムを再インストールする場合は、[リカバリ マネージャ] プログラムを使用しないでください。これらのプログラムは CD または DVD から直接再インストールしてください。

プログラムをアンインストールする前に、再インストールが可能であることを確認してください。もともとインストールした場所（ディスクやインターネットなど）で現在も利用できることを確認します。または、対象のプログラムが、[リカバリ マネージャ] から再インストールできるプログラムの一覧に含まれていることを確認します。

注記： 一部の機能は、Microsoft Windows が付属していないシステムでは使用できない場合があります。</td></tr>
<tr><td></td><td>[リカバリ マネージャ] でインストール可能なプログラムの一覧を確認するには、以下の手順で操作します。

1. スタート画面で「り」と入力して、[リカバリ マネージャー] を選択します。確認画面が表示されたら、[はい] をクリックしてプログラムを続行します

2. [早急に手助けが必要] で、[ソフトウェア プログラムの再インストール] を選択します

3. [ソフトウェア プログラムの再インストーラーへようこそ] 画面で、[次へ] を選択します。プログラムの一覧が表示されます。該当するプログラムがあるか確認します</td></tr>
<tr><td></td><td>[リカバリ マネージャー] を使用してプログラムを再インストールするには、以下の手順で操作します。

1. スタート画面で「り」と入力して、[リカバリ マネージャー] を選択します

2. [ソフトウェア プログラムの再インストーラーへようこそ] 画面で、[ソフトウェア プログラムの再インストール] → [次へ] の順に選択します

3. インストールするプログラムを選択して [次へ] を選択し、画面の説明に沿って操作します

4. 再インストールが完了したら、コンピューターを再起動します。最後の手順を省略しないでください。ソフトウェアプログラムまたはハードウェアドライバーのリカバリが完了したら、コンピューターを再起動する必要があります。</td></tr>
<tr><td></td><td>プログラムをアンインストールするには、以下の手順で操作します。

1. すべてのソフトウェアプログラムおよびフォルダーを閉じます。

2. スタート画面で「こ」と入力して、[コントロール パネル] を選択します

3. [プログラム] 領域で、[プログラムのアンインストール] を選択します

4. 削除するプログラムを選択し、[アンインストール] を選択します</td></tr>
</table>

3　システムリカバリ

システムリカバリでは、ハードドライブの内容（作成したデータファイルを含む）を完全に消去して再フォーマットし、オペレーティングシステム、プログラム、およびドライバーを再インストールします。ただし、工場出荷時にコンピューターにインストールされていないソフトウェアは、手動で再インストールする必要があります。これには、コンピューターに同梱されているメディアからインストールしたソフトウェア、およびコンピューター購入後にインストールしたソフトウェアが含まれます。

注記：　システムリカバリプログラムを使用する前に、必ず [システムの復元] を実行します。11 ページの「ソフトウェアのトラブルシューティング」の「Microsoft の [システムの復元]」を参照してください。

一部の機能は、Microsoft Windows が付属していないシステムでは使用できない場合があります。

システムリカバリの方法の選択

システムリカバリの実行方法を以下から選択する必要があります。

- リカバリイメージ : ハードディスクドライブに格納されているリカバリイメージからシステムリカバリを実行します。リカバリイメージは、工場出荷時のソフトウェアのコピーが含まれたファイルです。リカバリイメージを使用したシステムリカバリの実行については、15 ページの「Windows のスタート画面からのシステムリカバリの開始」を参照してください。

注記： リカバリイメージは、データ保存に使用できないハードドライブ領域を使用します。

- リカバリメディア : ハードディスクドライブに格納されているファイルから作成したリカバリメディア、または別売のリカバリメディアから、システムリカバリを実行します。リカバリメディアの作成については、18 ページの「リカバリメディアの作成」を参照してください。

システムリカバリのオプション

システムリカバリは以下の順序で実行する必要があります

1. ハードディスクドライブを使用して Windows のスタート画面から実行します。
2. ハードディスクドライブを使用して、システムの起動中にキーボードの F11 を押して実行します。
3. 作成したリカバリメディアから実行します
4. HP のサポート窓口で購入したリカバリディスクから実行します。リカバリディスクの購入については、http://www.hp.com/jp/contact/ を参照してください。

Windows のスタート画面からのシステムリカバリの開始

注意： システムリカバリオプションによって、作成またはインストールしたすべてのデータまたはプログラムが削除されます。重要なデータはリムーバブルディスクまたは USB フラッシュドライブにバックアップしておいてください

コンピューターが機能しており、Windows を使用できる場合は、以下の手順で**システムリカバリ**を実行します。

1. コンピューターの電源を切ります。
2. モニター、キーボード、およびマウス以外に接続されている周辺機器（USB 接続機器、プリンターなど）を、コンピューターからすべて取り外します。
3. コンピューターの電源を入れます。
4. スタート画面で「り」と入力して、［**リカバリ マネージャー**］を選択します。確認画面が表示されたら、［**はい**］をクリックしてプログラムを続行します。
5. ［**早急に手助けが必要**］で、［**システム リカバリ**］をクリックします
6. 画面の説明に沿って操作します。

   注記： システムのリカバリパーティションが検出されなかった場合は、リカバリメディアを挿入するよう求められます。ディスクまたは USB フラッシュドライブを挿入し、［**はい**］→［**次へ**］の順にクリックします。コンピューターが再起動したら、リカバリディスクまたは USB フラッシュドライブからリカバリマネージャーを実行します。ディスクを使用する場合、次のシステムリカバリディスクを挿入するよう求められたら、ディスクを挿入します

7. リカバリが完了したら、コンピューターの電源を切り、すべての周辺機器を接続しなおして、コンピューターの電源を入れます。

システム起動中のシステムリカバリの開始

注意： システムリカバリオプションによって、作成またはインストールしたすべてのデータまたはプログラムが削除されます。重要なデータはリムーバブルディスクまたは USB フラッシュドライブにバックアップしておいてください

コンピューターは機能するのに、Windows を使用できない場合は、以下の手順で**システムリカバリ**を実行します。

1. コンピューターの電源を切ります。必要であれば、コンピューターの電源が切れるまで電源ボタンを押したままにします。
2. モニター、キーボード、およびマウス以外に接続されている周辺機器（USB 接続機器、プリンターなど）を、コンピューターからすべて取り外します。
3. 電源ボタンを押し、コンピューターの電源を入れます。
4. 起動中に HP Invent のロゴが表示されたら、**[ファイルをロードしています]** というメッセージが表示されるまで、キーボードの [F11] を繰り返し押します。
5. ［**早急に手助けが必要**］で、［**システム リカバリ**］をクリックします
6. 画面の説明に沿って操作します。
7. リカバリが完了したら、コンピューターの電源を切り、すべての周辺機器を接続しなおして、コンピューターの電源を入れます。

リカバリメディアからのシステムリカバリの開始

⚠ **注意**：　システムリカバリオプションによって、作成またはインストールしたすべてのデータまたはプログラムが削除されます。重要なデータはリムーバブルディスクまたは USB フラッシュドライブにバックアップしておいてください

リカバリメディアの作成については、18 ページの「リカバリメディアの作成」を参照してください。

リカバリメディアを使用して**システムリカバリ**を実行するには、以下の操作を行います

1. コンピューターが動作する場合は、残しておきたいすべてのデータファイルを DVD または USB フラッシュドライブにバックアップし、ドライブトレイからバックアップメディアを取り出します
2. リカバリ DVD を使用する場合は、『リカバリディスク #1』を DVD ドライブトレイに挿入し、トレイを閉じます。リカバリ USB フラッシュドライブを使用する場合は、USB フラッシュドライブを USB コネクターに挿入します
3. コンピューターが機能している場合は、スタート画面で、カーソルを画面の右下隅に移動してチャームのツールバーを表示し、［**設定**］→［**電源**］アイコン→［**シャットダウン**］の順に選択します。または、コンピューターが応答しない場合は、コンピューターの電源が切れるまで、約 5 秒間電源ボタンを押したままにします。
4. モニター、キーボード、およびマウス以外に接続されている周辺機器（USB 接続機器、プリンターなど）を、コンピューターからすべて取り外します。
5. 電源ボタンを押し、コンピューターの電源を入れます。リカバリ DVD を使用する場合は、ディスクからリカバリマネージャーが自動的に起動します。手順 7 に進んでください。
6. USB フラッシュドライブからシステムリカバリを実行する場合は、[Esc] キーを押したままコンピューターの電源を入れて、起動メニューを表示します。矢印キーを使用して USB デバイスを選択し、[Enter] キーを押して USB デバイスから起動します
7. システムリカバリをメディアとハードディスクドライブのどちらから行うかを選択するウィンドウが表示された場合は、メディアを選択し、［**次へ**］をクリックします

8. ［**早急に手助けが必要**］で、［**購入時の状態にコンピュータを復元**］を選択します

9. 画面の説明に沿って操作します。

リカバリメディア

リカバリメディアは、空の DVD ディスクまたは USB フラッシュドライブのどちらか一方で作成できます（両方で作成することはできません）。リカバリメディアは、ハードドライブに格納されているリカバリイメージから作成します。このイメージには、工場出荷時にコンピューターにインストールされていたオペレーティングシステムおよびソフトウェアプログラムのファイルが含まれています。お使いのコンピューターで作成できるリカバリメディアは 1 セットのみです。また、作成したメディアはそのコンピューター**のみで**使用できます。安全な場所に保管してください。

注記： 一部の機能は、Microsoft Windows が付属していないシステムでは使用できない場合があります。

リカバリメディアの選択

- リカバリディスクを作成するには、コンピューターに DVD 書き込みドライブが搭載されている必要があります。また、高品質の空の DVD+R ディスクまたは DVD-R ディスクのみを使用する必要があります。

  注記： CD、DVD+RW、DVD-RW、DVD+RW DL、DVD-RW DL、DVD+R DL、Blu-ray、または DVD-R DL ディスクは、リカバリディスクの作成に使用**できません**。

- リカバリディスクを作成する場合は、必ず高品質のディスクを使用してリカバリディスクセットを作成してください。ディスクに問題がある場合にはそのディスクを使用できませんが、これは異常ではありません。新しいディスクを挿入して再度試すように要求するメッセージが表示されます
- リカバリディスクに使用されるディスクの数は、お使いのモデルのコンピューターによって異なります（通常は 1 ～ 3 枚です）。リカバリディスク作成プログラムの画面上に、必要な空のディスクの数が示されます
- 代わりに、高品質の空の USB フラッシュドライブを使用して、リカバリ USB フラッシュドライブを作成することもできます。USB フラッシュドライブを使用する場合は、すべてのデータを保存するために必要なドライブ容量が示されます

注記： リカバリメディアを作成する作業は、メディアに書き込まれた情報が正しいかどうかを確認するために、ある程度の時間がかかります。作業はいつでも中止できます。次にプログラムを実行するときは、中止した場所から再開されます

リカバリメディアの作成

リカバリディスクを作成するには、以下の手順で操作します。

1. 開いているすべてのプログラムを閉じます。
2. スタート画面で「り」と入力して、［**リカバリ マネージャー**］を選択します。確認画面が表示されたら、［**はい**］をクリックしてプログラムを続行します。
3. ［**リカバリメディア作成**］→［**ブランクの DVD を使用してリカバリメディアを作成**］→［**次へ**］の順に選択します。
4. 画面の説明に沿って操作します。作成したリカバリディスクにはラベル（リカバリ 1、リカバリ 2 など）を付けます

リカバリ USB フラッシュドライブを作成するには、以下の操作を行います

1. 開いているすべてのプログラムを閉じます
2. USB フラッシュドライブをコンピューターの USB コネクターに挿入します
3. スタート画面で「り」と入力して、［**リカバリ マネージャー**］を選択します。確認画面が表示されたら、［**はい**］をクリックしてプログラムを続行します。
4. ［**リカバリメディア作成**］→［**USB フラッシュドライブを使用してリカバリメディアを作成**］→［**次へ**］の順に選択します。
5. メディアの一覧から USB フラッシュドライブを選択します。リカバリドライブを作成するために必要な容量が示されます。USB フラッシュドライブに十分な容量がない場合、そのドライブは画面で選択できなくなります。［**次へ**］をクリックします

注記： フラッシュドライブがフォーマットされ、保存されているファイルがすべて削除されます

6. 画面の説明に沿って操作します。USB フラッシュドライブにラベルを付けて、安全な場所に保管してください

注記： リカバリメディアの作成に SD カード、メモリースティックなどのメディアカードは使用しないでください。メディアカードからシステムを起動できず、システムリカバリを実行できない可能性があります

4　メンテナンス

単純なメンテナンスを実行し、コンピューターが最高のパフォーマンスで動作するようにすることが重要です。

スケジュールおよびタスク

メンテナンスを適切に行うには、推奨される間隔で以下の作業を実行してください。		
毎週	ソフトウェアのクリーンアップ	[**ディスク クリーンアップ**]、または他社製の安全なクリーニングツールを使用して、システムの動作を低下させる原因となる、蓄積された不要なファイルや一時ファイルを削除します。また、不要になったプログラムを確認して、それらをアンインストールします
	デフラグおよび最適化	Windows のツールを使用してハードディスクドライブのデフラグおよび最適化を実行することで、ハードディスクを最適な状態に保ち、システムパフォーマンスを向上させます。この作業を頻繁に実行しても、システムに害を与えることはありません
	ウィルススキャン	完全なウィルススキャンを毎週実行することによって、知らないうちに入り込む可能性があるウィルスをキャッチできます。ほとんどのウィルス対策製品には、これを自動的に追跡するスケジュール機能があります
毎月	ハードウェアのクリーンアップ	コンピューターの内部および外部をすべてクリーニングします
	ソフトウェアの更新	[**Windows Update**] を使用して、オペレーティングシステムのバグを修正し、パフォーマンスを向上させます。また、ハードウェアのドライバー更新プログラム、および使用しているプログラムの新しいバージョンの確認も行います
	Windows Update	[**Windows Update**] を毎月実行してアップデートをインストールします
毎年	システムリカバリ	コンピューターの使用方法にもよりますが、システムは、いつかは故障する可能性があります。**システムリカバリ**プログラムを使用して、インストールされていた Windows オペレーティングシステムをいったん完全に消去し、初めてシステムを起動したときの元の構成に復元することができます。**システムリカバリを実行する前に、重要なデータファイルをバックアップします。**詳しくは、13 ページの「システムリカバリ」を参照してください
必要に応じて	データのバックアップ	お使いのコンピューターにインストールされている CD または DVD 作成ソフトウェアを使用して、個人用ファイル、電子メールメッセージ、および Web サイトのお気に入りなどの重要な情報のバックアップディスクを作成（書き込み）できます。また、データを外部ハードディスクドライブに移動することもできます

埃、汚れ、熱からのコンピューターの保護

お使いのコンピューターシステムを埃、汚れ、および熱から守ることで、より長く使用できます。埃、ペットの毛やその他のごみが積もることで、部品が過熱したり、キーボードやマウスの動きが滑らかでなく効率が悪くなったりします。埃やごみが付いていないかどうか、システムを 1 か月に 1 回確認し、3 か月に 1 回程度クリーニングしてください。クリーニングの詳細な手順について詳しくは、http://www.hp.com/jp/contact/ を参照してください。

コンピューターおよびモニターのクリーニング

以下の手順に従って、コンピューターおよびモニターのクリーニングを行います

1. コンピューターおよびモニターを電源から切り離します
2. モニターの表面をクリーニングするには、乾いた清潔な布を使用します。**モニター画面には水分を付けないでください。**よりしっかりとクリーニングする場合は、静電気防止効果のあるスクリーンクリーナーを清潔な布に付けて使用します
3. 乾いた清潔な布で、コンピューターの表面およびモニターの表面の埃を取り除きます

注記： コンピューターまたはモニターの表面に付いたシールの粘着剤や液体を拭き取るには、イソプロピル（消毒用）アルコールを毛羽立ちのない布に付けて使用します

コンピューターの通気孔のクリーニング

通気孔によってコンピューターが冷却されます。電池式の小型掃除機で通気孔をクリーニングしてください（電池式の掃除機を使用することで、感電を防止できます）

1. コンピューター表面の通気孔に掃除機をかけます
2. コンピューターのコネクター（USB コネクター、イーサネットコネクターなど）の内部および周囲に付着したごみを取り除きます

キーボードおよびマウスのクリーニング

キーボードのキーをクリーニングする場合は、キーや内部のバネが外れないようにするため、電池式の掃除機を「弱」の設定で使用してください

1. キーボードのキーの隙間および縁に掃除機をかけます
2. 乾いた清潔な布にイソプロピル（消毒用）アルコールを付けて、キーボードのキーおよびその周囲をクリーニングします
3. 柔らかい布などでマウスの本体およびコードを拭きます

ローラーボール付きのマウスを使用している場合は、中のボールとローラーをクリーニングします

1. マウスを裏返し、ボールカバーリングを反時計回りに回転してリンクを取り外し、ローラーボールを取り出します
2. ローラーボールは石けんと温水でゆすぎます
3. マウスの中にあるローラーは、イソプロピル（消毒用）アルコールで軽く湿らせた綿棒でクリーニングします
4. ローラーボールとローラーが完全に乾いたら、ボールを元に戻してボールカバーリングを取り付けます

タッチスクリーンのクリーニング（一部のモデルのみ）

⚠ **注意：** クリーナーを直接画面に吹きかけないでください。クリーナーは布に吹きかけ、その布でタッチスクリーンの側面および表面を拭きます。

タッチスクリーンの側面または表面を拭くときに研磨剤や布ヤスリを使用しないでください。タッチスクリーンが損傷するおそれがあります。

以下の手順に従って、タッチスクリーンのクリーニングを行います

1. コンピューターの電源を切ります。スタート画面で、カーソルを画面の右下隅に移動してチャームのツールバーを表示し、［**設定**］を選択します。［**電源**］アイコンを選択し、［**シャットダウン**］を選択します。
2. 電源コードを壁面のコンセントから抜きます
3. 少量のガラス用中性クリーナーを柔らかい布に吹きかけて、タッチスクリーンを清掃します
4. タッチスクリーンの表面および左右の側面を拭いて、画面のタッチ認識率を下げる可能性がある汚れ、指紋、その他のごみなどを取り除きます

環境への配慮

ご購入ありがとうございます。HP では品質、パフォーマンス、使いやすさに優れたコンピューターの開発に努めています。
さらにこのコンピューターは環境に配慮して設計されています。
いっそう環境を保護するために、ぜひご協力ください。

お客様にできること	HP が行うこと
古いコンピューターをリサイクルする HP では、使用済みの HP 製および他社製ハードウェアの回収プログラムを一部の地域で実施しています。規定要件およびお客様からの要望の違いに応じて、プログラムの実施条件や実施状況も地域により異なります。HP のリサイクルプログラムについては、HP の Web サイト(http://h50146.www5.hp.com/program/suppliesrecycling/jp/ja/hardware/household.asp)を参照してください。	環境に配慮した設計 お客様がこのコンピューターを永くご愛用いただいた後で廃棄するときのために、簡単に解体でき、できるだけ多くの部品をリサイクルできるよう設計しました。コンピューターの梱包箱もリサイクル可能です。
スクリーンセーバーを使わない スクリーンセーバーは、コンピューターがスリープ状態に入ることを阻止するため、電力を余計に消費してしまう場合があります。また、LCD のバックライトが点灯している時間が増えるため、モニターの寿命が短くなる可能性があります。	エネルギー効率の向上 このコンピューターには、HP の電源管理テクノロジーが搭載されています。これにより、非搭載のコンピューターと比較して最大 45% の省電力が実現します。最小限の電力のみ使用することで、電気代はもちろん、二酸化炭素の排出も削減できます。
電源設定を有効にしておく コンピューターに搭載されている電源管理ツールは、パフォーマンスに影響することなく電力の消費を最小限に抑えるように設定されています。この設定は有効のままにしておいてください。	より高品質、より少量の部材 HP では、お客様とご家族、そして地球環境を守るため、可能な限り安全な部材を全製品に使用しています。